

会報



広島県高P連

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F
広島県高等学校
P T A 連 合 会
電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351
HP hiroshima-koup.sakura.ne.jp

NO. 177



就任御挨拶

広島県高等学校PTA連合会

会長 岡崎 光治

令和五年六月六日、四年振りに来賓の方をお招き出来た定例総会を行い、皆様の同意で承認頂き、三期目の会長に就任いたしました岡崎光治と申します。

会員の皆様には平素から多大なる御支援と、御理解・御協力を賜り心より感謝申し上げます。

初めて広島県高等学校PTA連合会会長を拝命した令和三年は、皆様のお顔を拝見出来ない書面決議でした。

あれから二年を経て、PTA活動は平生を取り戻してきたものの、会員の意識は随分変わったように思います。

平成元年（一九八九年）の九万六千人をピークに、本会会員数は四万六千人余（二〇二三年データ）と三十四年間で半数以下の人数となっております。

これは少子化という大前提以外にも私学人気やオンライン授業等の学校の形や地域を超えた進学が要因と考えられます。

またPTA活動も夫婦共働き等保護者の方の参加も難しく、会員のコミュニケーション不足による活動への温度差が顕著になっていきます。

御多忙である保護者の方の時間は大変貴重であり、無駄をなくすPTA活動が求められ、その結果、必要論に発展する事も少なくありません。

しかし無駄な活動は全て否定されるものでしょうか？生徒達は希望通りにならない結果に強い衝撃を受けます。たった十六、十八年の人生ですから、「学力が伸びない」「試合に勝てない」

「または親友との喧嘩や失恋等はとても辛い事でしょう。ですが長く生きていく私達は学んでいます。「あの時の失敗があるから今日がある」「あの経験が今の自分を作ってくれた」など無駄に終わった行動や経験が、少なからず現在の支えになっている事を。ですから今こそ新しいPTA活動を、会員と考える時だと感じています。

ある会の会長は「平時のボトムアップ、有事のトップダウン」と言われており私も同感です。コロナ禍の混乱期はリーダーが判断し、コロナが明けた現在は各地区長や委員長の見解を取り入れ、PTA活動を再考する時期と思っております。

奇しくも二年前の就任時、広島県高P連は七十周年でした。

感染防止を考慮して、周年パーティー等は行いませんでしたが、周年誌の発行、リモート会議用Zoomの取入れ、局長の在宅ワーク環境整備、そしてもう直ぐお披露目する予定のスマホからも確認可能な新しいホームページの作成等、新広島県高P連の準備は着々と進んでいます。

一朝一夕で会員の要望通りの広島県高P連や活動改革は出来ませんが、本役員と事務局が一枚岩となり全力で生徒や学校のために取り組んでおりますので、引き続き皆様の御協力を重ねてお願い申し上げます。

お気づきの方も多いかと思いますが、私の三期目会長就任と同時に十三年間にわたり、広島県高P連の屋台骨を支えて頂きました土谷流廣さんが退職されました。

いつも笑顔で温かなお人柄、会員との交流を、分け隔てなくされる人格者でおられ、お酒を嗜まれると率先して場を盛り上げ、女性会員に絶大な人気をお持ちのパワー溢れる事務局長の退任は、広島県高P連にとって大変辛い事でした。

しかし新しく就任された谷岡治事務局長も元高校事務局長御出身の方で、サッカー経験者という事もあり、スポーツマンらしくメリハリのある御判断は、

我々を戸惑わせる事なく御指導頂けるものと思います。前事務局長同様、宜しくお願い致します。

さて本紙が届くころには各委員会の委員長も決まり、コロナ前の活動だった中四国地区岡山大会や第一回目の単P会長研修会、県内国公立大学進学説明会や全国高等学校PTA連合会宮城大会もフル開催で滞りなく終了していると思えますが、積極的に参加されましたか？

私達の活動は「やらされてる感」で入ると、いくら「子供達のために」とか「生徒のために」と言われても、簡単に馴染めるものではありません。単では如何すれば良いか？まず楽しくそうに活動されている方に付いて行ってください。

PTAを極めている方は間違いなく楽しんでおられます。

まずは活動ではなく楽しむ事を学んでください。

次に活動を通じてお会いした方と積極的に会話をしてください。

学校は勿論、性別・年齢・職業関係なく、コミュニケーションを取ってください。

意見が合わない場合、どうするか？それは持論で相手を論破する「知識」ではなく、お互いがニコツと笑える「智恵」で乗り切ってください。

殆どの会員は不安を抱えて参加され

ておられますので、皆様の勇氣ある一声で友達の幅が大きく広がること間違いなしです。

本年度総会の話に戻りますが、総会後の情報交換会の設営で、最後のバ後に恒例の「高校三年生」を入れるか事務局で協議しました。

調べたところ、私も生まれていない昭和三八年のヒット曲でした。つまり情報交換会に参加されている方は殆ど知らない曲なのです。

この曲を流すことで盛り上がるのか？より交流を深める事が出来るのか？随分悩みましたが、やってみないとわからないという事で、例年通り流すことに決めました。

参加された方全員で輪になって頂き、曲を流しましたが初めてのの方が殆どでしたので、一番ではぎこちなく左右に体を揺らすだけでした。二番に入る間奏時に機転を利かせた副会長がWAVEを作られ、一気に盛り上がったのは記憶に新しいかと思えます。

来る十一月十二日(日)尾三地区主管の広島県大会が尾道東高校で開催されます。

本大会は前年の引継ぎではなく、尾三地区独自の発想と運営で準備されており、開催日も開催地も例年と違っています。初の試みのため、各校のPTA関係者の方も心配されていますが、尾三地区はコロナ禍を終えたPTA活動

の在り方を含め、本大会の準備を進めておられます。

その進め方にも賛否ありますが、我々はイベント会社ではありませんし、思想を基に何が良く何が悪いかも決める団体でもありません。

新しい試みに対しては同じ仲間として大会成功のために協力し合い、良いところは残して、良くなかったところがあれば、非難するのではなく「次年

令和五年度
定例総会
とき 六月九日(木)
ところ 広島県民文化センター

昨年度、三年ぶりの定例総会を、制限のある中ではありますが行う事ができました。来年こそは、今まで通りの

度以降の修正要因とする」で良いと思っています。

最後になりましたが、本年度PTA役員を引き受けていただいた皆様が、総会後の情報交換会で流した「高校三年生」のように、躊躇うだけでなく「やってよかった」と思える一年間になります事を心より祈念申し上げます。一年間宜しくお願致します。

事になりました。

県内加盟の各校より、被表彰者を含む二百十五名の会員の皆様に御出席いただき開催致しました。



司会は、例年、前年度県高P連総務委員長に行っていたが、今年度は委員

長が出席できず、副委員長の広島市立広島工業高等学校前PTA会長井上志保氏に行っていたいただきました。



開会のことばを藤原みどり副会長が行い、声高らかに国歌斉唱を行った後、



総会が行えるようにと願っており、今年度はコロナウイルス又感染症が五類へと変更となった後の定例総会ですの



岡崎光治会長が挨拶を行いました。続いて、昨年度までは行う事が出来なかった、PTA活動に永年御尽力いた



た。いただいた会員の皆様への感謝状・記念品贈呈を行いました。

まずはじめに広島県教育委員会教育長感謝状が、池田克輝県教育次長より授与され、受賞者七名を代表して、広島県高等学校PTA連合会前副会長山本祐二氏が受領されました。

次に、県高P連会長感謝状が、岡崎光治会長より授与され、百三十七名を代表して、広島県立高陽高等学校前PTA会長長尾梢氏が受領されました。



被表彰者を代表し、広島市立沼田高等学校前PTA会長井上

佳治氏が謝辞を述べられました。

次に、御来賓の広島県副知事田邊昌彦氏、広島県議会副議長緒方直之氏、広島県教育委員会教育次長池田克輝氏、広島市教育委員会青少年育成部長橋本英士氏、広島県公立高等学校長協会会長山田哲也氏から御祝辞を頂きました。

御祝辞を頂いた五名の御来賓以外に、

広島県PTA連合会会長橋本和博氏、広島市PTA協議会副会長栗川文博氏、広島県公立高等学校教頭会会長脇谷靖伸氏、県高P連元会長小川嘉彦氏、渡邊綾子氏、吉岡久美子氏、北村正次氏に御臨席頂きました。

開会行事終了後、定足数について、谷岡治事務局長が行い、総会成立の報告をいたしました。

次に総会議事にうつり、議長に古田健治副会長を選出し、議事録署名名人に、



呉市立呉高等学校PTA会長濱咲舞氏、広島県立三原東高等学校

校PTA会長為清舞子氏を選出しました。

令和四年度会務・事業報告が高端邦裕副会長から行われ、提案どおり承認されました。

会計決算報告は、谷岡治会計が五会計の決算内容の報告を行い、監査報告を、監査委員の広島市立広島みらい創生高等学校前PTA会長平賀美雪氏が報告し承認されました。

次に役員選任にうつり、令和五年度県高P連会長には引き続き、岡崎光治会長が選任されました。



県高P連副会長五名には、広島県立広島皆実高等学校元PTA会長藤原みどり氏、広島県立西条農業高等学校前PTA会長古田健治氏、広島県立神辺旭高等学校PTA会長高端邦裕氏、新たに、広島県公立高等学校長協会から広島県立総合技術高等学校校長山垣内雅彦氏、広島県立世羅高等学校PTA前会長吉儀多加志氏が選任されました。

又、あらかじめ各地区連合会より選出された県高P連幹事、監査、常任委員については、提案どおり承認されました。



旧役員を代表して、退任された山本祐二前副会長の挨拶並びに、新役員を代表して岡崎光治会長が挨拶を行いました。令和五年度事業方針(案) 事業計画(案)につ

いて岡崎光治会長から説明を行い承認されました。続いて予算(案)を提案し、予算(案)は無事承認されました。議事終了後、閉会のことばを吉儀多加志副会長が行い、総会を閉会いたしました。その後、コロナ禍で四年間も開催することができなかった新旧役員・会員



その後、コロナ禍で四年間も開催す

の歓送迎会をかねた情報交換会を、「広島サミット」の際の日米首脳会議の舞台となったリーガロイヤルホテル広島にて行ないました。コロナ禍前の参加人数にはまだまだほど遠いですが、百八十三名の会員の方が参加され、親交を深めていただき、盛会のうちに終了致しました。



(県高P連事務局)

令和五年度 第一回 常任委員会

とき 令和五年六月二十日(火)
ところ 広島YMCA本館
四階40二号室

令和五年度第一回常任委員会を三十六名の常任委員様の御出席のもと開催いたしました。

司会は、吉儀多加志副会長が担当し、岡崎光治会長の挨拶のあと、御来賓の広島県教育委員会事務局学びの変革推進部生涯学習課課長兼乳幼児教育支援センター長桑原智津子氏、広島県公立高等学校長協会山垣内雅彦副会長より御挨拶を頂きました。

次に、谷岡治事務局長から、定足数の報告を行い、常任委員会成立を報告致しました。

議長には藤原みどり副会長を選出し、議事録署名人には広島県立油木高等学校 渡邊洋美PTA会長、広島県立吉田高等学校 船津義隆PTA会長を選出しました。議事にうつり、まず、顧問・参与の委嘱について、人事案を提案、原案どおり承認されました。次に、その他として、谷岡治事務局長より、

- ① 第六十五回中国・四国地区高等学校PTA連合会岡山大会(七月十四日 倉敷市民会館)
- ② 第七十二回全国高等学校PTA連合会大会宮城大会(八月二十四日、二十五日カメイアリーナ仙台ほか)

の二大会について説明がありました。中国四国大会岡山大会については、参加申し込みが少ないことから、是非参加をお願いしたいとの報告がありました。

議事終了後、各委員会に分かれて委員会協議を行いました。各委員会では委員長、副委員長の決定並びに本年度事業計画について協議いただきました。その後全体会で各委員会委員長から委員長・副委員長の発表、一年間の委員会活動について報告され、すべての議事が滞りなく終了いたしました。各委員会の委員長・副委員長は次のとおりです。

(県高P連事務局)

令和五年度 県高P連各委員会 委員長・副委員長一覧				
総務委員会	(委員長)	呉市立呉高等学校	PTA会長	濱 咲 舞
	(副委員長)	広島県立庄原実業高等学校	PTA会長	福 岡 馨
研修委員会	(委員長)	広島市立美鈴が丘高等学校	PTA会長	末 政 愛
	(副委員長)	広島市立基町高等学校	PTA会長	福 本 博 之
調査広報委員会	(委員長)	広島県立広島国泰寺高等学校	PTA会長	兎 玉 壘
	(副委員長)	広島県立総合技術高等学校	PTA会長	波 邊 京 子
健全育成委員会	(委員長)	広島県立大柿高等学校	PTA会長	橋 本 勇 二
	(副委員長)	広島県立福山誠之館高等学校	PTA会長	井 上 博 之
進路対策委員会	(委員長)	広島県立広高等学校	PTA会長	上 藤 誠
	(副委員長)	広島県立吉田高等学校	PTA会長	船 津 義 隆

第六十五回

中国・四国地区高等学校
PTA連合会大会岡山大会

とき 令和五年七月十四日(金)
ところ 倉敷市民会館ホール



令和五年七月十四日に、『集まれば
ころはればれ 晴れの国』く「集ま
る」 「話す」の大切さ再発見をテー
マに、第六十五回中国・四国地区高等
学校PTA連合会大会が倉敷市の倉敷
市民会館ホールにて開催されました。



昨年引き続き、新型コロナウイルス感
染症の状況化ではありますが、五月に
「五類感染症」に分類され、制限もな
くなり、千二百人もの大勢の方が参加
され、にぎやかな雰囲気の中、開会式
が始まりました。

開会式では中国・四国地区高等学校
PTA連合会菊池潤会長、一般社団法
人全国高等学校PTA連合会山田博章
会長から御挨拶いただきました。

講演会では、岡山県津山市に縁のあ
る、東京工業大学建築学科を卒業され、
建築家を経て作家・写真家とし御活躍
されている稲葉なおと氏をお迎えし『
倉敷から始める家族旅』を演題に御講
話いただきました。



高校生のわが子を家族旅行に連れ出
すため、高校生の旅心をいかに動かす
か、倉敷を中心とした二十一軒の建築
物を、ネットに出てこない豆知識を交

えて、興味をそそる軽快なお話と、写
真家でもある稲葉氏の素晴らしい写真
を見ながら御説明いただきました。

午後からは、高校生による発表『課
題解決型学習 (PBL)』の発表です。
PBLとは、(PBL: プロジェクト
ベースド ラーニング) 生徒が自ら
問題を見つけ、更にその問題を自ら解
決する能力を身に付ける学習方法のこ
とです。



三校が取り組みと成果を発表してく
れました。ある学校は昭和四十五年に
全国に先駆けて茶道を正課に取り入れ
た学校です。この学校では「岡山の伝
統文化の継承と、新たな文化の構築」
というテーマで、令和四年にユネスコ
無形文化遺産に登録された『白石踊り
』の継承と、日々学んでいる茶道を生
かし、お茶文化を普及したいと考え、
地元農家の協力のもと、岡山初の抹茶

を完成させました。

どの学校も日頃から地域、社会と密
着し、地域を盛り上げ、貢献する活動
に取り組んでいることに感心しました。



PTA研究協議においては、岡山県、
香川県、広島県から選ばれた高校の代
表者がそれぞれのテーマに沿って発表
を行いました。

広島県立広島皆実高等学校の発表で
はコロナ禍での、新しいPTA活動へ
挑戦ということで、全校生徒約千人が
参加する大運動会が無観客開催のため、
観覧できない保護者へ向けての動画撮
影とネット配信などの取り組みの発表
がありました。

徳島県立吉野川高等学校の発表では、十年前に再編統合し、新たにできたPTAのこの十年の活動や文化祭での活動、これからのPTA活動についての発表がありました。

岡山県立倉敷南高等学校の発表では、キャリアの学び・グローバルの学び・SNSを利用した開かれた学校づくりを支える活動の発表がありました。終わりに岡山県の高校生の発表はやる気に満ちた魅力的な内容でした。手作り商品、農産物の販売も活気溢れるものでした。



アフターコロナとして開催された岡山大会素晴らしい大会でした。ありがとうございました。

(県高P連調査広報委員 渡邊洋美)

令和五年度 第一回単P会長研修会

とき 令和五年七月二十九日
ところ 広島YMCA国際文化ホール
ほか

令和五年度第一回単P会長研修会が七月二十九日(土)十三時から広島YMCA国際文化ホールほかにおいて、広島県内校のPTA会長等八十三名が一堂に会し、盛大に開催されました。



開会行事では開会のご挨拶、国歌斉唱に続き、広島県高等学校PTA連合会岡崎会長の挨拶が行われました。挨拶の中で岡崎会長は、御自身が初めて単P研修会に出席された時のことに触

れ、この単P研修会を通じて、PTA会長同士で悩みを共有し、情報交換すること、親交を深めてほしいというお話をされました。



また、十一月十二日(日)に尾三地区にて開催される広島県高等学校PTA連合会広島県大会への参加も呼びかけられました。

続いて行われた来賓挨拶では、来賓としてお越しくいただきました、広島県教育委員会事務局学びの革新推進部生涯学習課課長兼乳幼児教育支援センター長桑原智津子様、広島県公立高等学校長協会副会長山垣内雅彦様より御挨拶いただきました。桑原様は御挨拶の中で、県高PTA連合会や所属のPTA会長の、日ごろのPTA活動や家庭の教育力の向上を通じた、各校の多彩な教育作りへの尽力への感謝の言葉をいただきました。また、グローバル化、AI化、パンデミックや物価高騰など、社会の先行きが不透明な中、教

育委員会として「未来を生き抜くためのエージェンシー育成プログラム」を実施し、自ら考える人材育成に取り組んでいるというお話がありました。

また、山垣内様からは、当日午前中に行われた高校野球広島大会の決勝の話から、勝負事では勝つことに価値を見出してしまいが、負けないと学べないこともたくさんあり、負けの中からどのように成長していくか、そこを大人が支えることも大事というお話をいただきました。続いて研修事に入り

研修行事一では広島県高等学校PTA連合会の組織等説明を岡崎会長から行いました。



組織図を用いながらの説明の中で、尾三地区で行われる、広島県大会に加え、

八月二十四日、二十五日に開催される第七十二回全国高等学校PTA連合会大会宮城大会への積極的な参加をお願いしたいというお話がありました。

研修行事二では、六分散会に分かれたの分散会が行われました。

県高P連副会長や研修委員会を中心に分散会の司会や記録を担っていただきました。

私の参加した第六分散会では、特にテーマを設けず、初めてPTA会長になった方を中心に、現状の悩み等を共有し、複数年PTA会長を経験されている方がアドバイスをするという形でした。

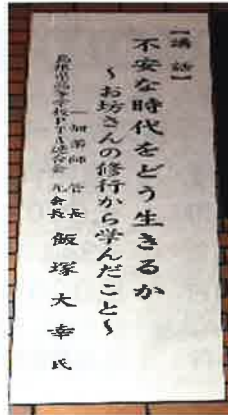
皆さん同じような悩みを抱えており、これからPTA会長として会を運営していく中で、とても有意義な時間となりました。



研修行事三として元島根県高P連会長で一畑薬師管長の飯塚大幸様をお招きし「不安な時代をどう生きるか」お坊さんの修行から学んだこと」と題し、お話をいただきました。

飯塚様は、一昨年、島根県高P連会長として全国高等学校PTA連合会大会島根大会を、オンライン開催ではありましたが主管されました。

小学校、中学校、高等学校とPTAと関わることはないと思っていました。が、同級生が会長となったことが御縁で役を受けることになり、終わってみれば多くの学びを得ることができ、とても良い経験になったとのことでした。



講話では「口を知る」「気づく」「縁」「有り難う」「無財の七施」「人生は四苦八苦」「三つのよろこび」「二期一会」「分け登る麓の道は多けれど、同じ高嶺の月を見るかな」「魂が美しいものになったかどうか、それが私の人生の価値」

「朝は希望に目覚め、昼は精進に生き、夜は感謝に眠る」という仏教の言葉を含む十一の言葉が記載された資料が参加者に配られ、それぞれの言葉について飯塚様の御経験を交えながらお話し

れました。

「気づく」という言葉のお話では、お坊さんの修行は、気づくことを促すことであり、自分の間違いに気づくことであるというお話をされました。

飯塚様は小さい頃は身体が小さくひ弱で、中学校から京都のお寺に預けられました。そこでは二十人ぐらいが共同生活をしており、飯塚様はごはんや掃除、お客様へのお茶立てなどのお手伝いを毎日していました。

ある日、飯塚様のお師匠様のところにお客様がいらつしやり、飯塚様がお茶をお出ししました。飯塚様はお客様がお茶を早く飲み終わってくればそれを片付けて自由な時間になると思い待っていましたがお客様は一向に飲んでくれませんでした。お話が終わり、お客様は初めてお茶に手を付け、冷えた抹茶を飲んで「おいしいお茶ですね」と言い、帰り際に、庭をみて「きれいなお庭ですね。」と言って帰っていったそうです。入つて来るときも同じ庭を見ていたのに、お茶も初めから出していたのに、お客様は気づいていなかった。悩みごとのすべてを話して、心の中を空っぽにしたときに初めて、お茶がおいしく、庭がきれいであると感ずる（気づく）ことができた。このお話から、日々何気ないことでも、気づくことが大切であり、そうすることで、子供たちの微細な変化に気づき、SOSに気づいて

あげることができる。そのためにはまず、親である私たちもこの不安な時代において、こころを整えて、落ち着く必要があると感じました。

飯塚様の御講話終了後、閉会行事を行い、令和五年度第一回単P会長研修会を終了しました。

新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行して初めての単P会長研修会ということで、引き続き、四年ぶりに情報交換会・懇親が広島YMCA二号館地下コンベンションホールにて開催されました。

研修会に引き続き、御来賓として参加いただいたいました。広島県公立高等学校長協会副会長山垣内雅彦様、そして講師として御講話いただきました。元島根県高等学校PTA連合会長で一畑薬師管長の飯塚大幸様にも御参加いただき、情報交換、懇親を深めることができました。

私たちはコロナ禍において、オンラインミーティングという新たなテクノロジーを手に入れましたが、人と会い、語らい、お酒を酌み交わす。その大切さや意義を改めて感じることができた一日となりました。

(県高P連調査広報委員長 児玉 壘)



広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、団体総合生活保険のペットネームです。〉

1. 団体割引25%適用・損害率による割引25%適用 (天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。)
2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償
3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償
○携行品(学校管理下動産補償特約)の補償は学校管理下中のみです。
4. 「メディカルアシスト」で24時間・365日無料で各種医療に関してご相談いただけます。
※詳細はパンフレットをご確認下さい。
※補償期間(保険期間)は1年となります。(令和5年4月25日午後4時より令和6年4月25日午後4時まで1年間)
※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。
※スマホ・PCから簡単に加入申込みができます。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容		W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ
個人賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	国内	1事故 無制限	1事故 無制限	1事故 1億5,000万円限度	1事故 1億5,000万円限度	1事故 1億円限度
	海外	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度
国内示談交渉サービス付き						
病気入院 (1日あたり)		5,500円	5,200円	5,000円	—	—
傷害	死亡・後遺障害	469万円	435万円	344万円	311万円	245万円
	入院 (1日あたり)	6,500円	6,000円	5,000円	4,500円	3,500円
害	手術	上記入院日額の10倍(入院中の手術)、5倍(入院中以外の手術)				
	通院 (1日あたり)	3,500円	3,500円	2,600円	2,600円	1,500円
	地震・噴火・津波	○	—	—	—	—
	熱中症	○	○	○	○	○
細菌性食中毒	○	○	○	○	○	
携行品(学校管理下動産補償)	1年で20万円限度(自己負担額: 1事故3,000円)		1年で10万円限度(自己負担額: 1事故3,000円)			
被害事故補償	1事故3,000万円	1事故2,000万円	1事故1,000万円	1事故1,000万円		
育英費用	200万円	150万円	100万円	100万円	50万円	
地震・噴火・津波	○	—	—	—	—	
保険料		16,650円	14,650円	11,650円	9,650円	6,650円
制度維持費		350円				
掛金(1年分)		17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円

○携行品の損害保険金は1年間でW3、W2タイプは20万円限度。W1、A、Bタイプは10万円が限度となります。

(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(W3、W2タイプは20万円限度: W1、A、Bタイプは10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。

※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

※病気入院(入院医療保険金)について: 新規ご加入時の支払責任の開始日より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規ご加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東京海上日動パートナーズ中国四国本店 TEL:0120-018-217 令和5年3月作成 <22TC-102378>

〈引受幹事保険会社〉



東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

〈共同引受保険会社〉



AIG損害保険株式会社 広島支店
広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル
TEL 082-535-6010

この保険契約は、上記の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社(幹事保険会社) AIG損害保険株式会社